

群馬労働局と労使実務者会議を開催

12月14日、労働局で開催され副事務局長3名(小川・山端・金子)が出席しました。

はじめに、労働局より最近の労働行政の動向について説明がされ、取り組み内容について意見交換を行い、①雇用調整助成金の支給の適正化、②最低賃金引き上げに関する中小企業支援対策の取り組み、③未就労者卒業の求人状況・高齢者の雇用対策、④求職者支援制度、⑤均衡待遇・正社員化推進奨励金、⑥労基法違反に対する取り組み強化など、勤労者・生活者の視点から



経営者協会とともに意見交換

労働行政に対し政策・制度早期実現に向けた取り組み強化の意見を提起しました。

群馬県特定最低賃金が改定されました

昨年12月28日より群馬県特定最低賃金(産業別最低賃金)の金額が改定され、以下の金額となっています。当該の業種で働く人は確認しましょう!

業種名	改定額(時間額)	引上げ額
鉄鋼業	799円	4円
一般機械	788円	4円
電気機械	786円	4円
輸送用機械	788円	4円

連合群馬議員懇談会 第22回定期総会を開催

12月17日、前橋テルサで連合群馬議員懇第22回定期総会が開催され、議員懇会員、産別・地協代表・連合群馬役職員ら91名が参加しました。

総会前段に開催した学習会では、環境カウンセラーの片亀光さんから「環境立県ぐんまへの提言」と題し、県内の環境状況や家庭での心構えなどについて講演をいただき、課題を共有しました。

総会では、2011年度の活動経過報告、会計・会計監査報告が確認され、続いて2012年度の活動方針では①政策・制度要求と実現に向けた取り組み、②県連合・地協と連携し地域事情を踏まえたブロック内での政策報告会の開催、③勤労・生活者支援、④連合群馬活動への更なる参画、⑤各種選挙に向けた対応強化などの活動方針(案)、予算(案)、2012年役員体制が満場一致で確認されました。



議員懇会員をはじめとする参加者



県の環境状況や家庭での心構えなど講演
片亀氏



産別・地協・県連合・議員がスクラムを組んで活動を進めよう
黒沢代表

ぐんま労福協 第6次海外植林ボランティア派遣団

11月11日～17日、ぐんま労福協第6次海外植林ボランティアが行われ、連合群馬から1名が参加しました(全体で23名参加)。

植林はマレーシア・ボルネオ島のマファア村で行われ、原生林の再生を目的にフタバガキの苗を現地の皆さんのサポートを受けながら約1,500本植えました。作業中、めったに見ることが出来ないラフレシアの花を見つけることができました。

慣れない作業でしたが、参加者全員が環境問題への意識向上と環境保全の重要性について体感するとともに、ひとつの目的



世界最大の花ラフレシア

に向け参加者全員が一体となった取り組みがはかれました。

また、地元の小学校を訪問し、サッカーボールなどの遊具や文具を寄贈するとともに、子どもたちと一緒になわとび、サッカー、折り紙、バルーンアートで楽しく交流をはかりました。



参加者全員で記念撮影